

---

# 2022年 3月期 第1四半期 決算ハイライト

ティアック株式会社

<https://www.teac.co.jp/jp/>

証券コード6803

2021年8月6日

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報および合理的であると判断する一定の前提に基づいており、その達成を当社として約束する趣旨のものではありません。  
また、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。

# 2022年3月期 第1四半期 決算 ハイライト

単位：百万円	前年同期	当第1四半期	増減
売上収益	2,924	3,263	+ 339
営業利益	▲ 229	▲ 129	+ 100
親会社の所有者に帰属する当期利益	▲ 256	▲ 174	+ 82
資本合計	1,126	1,673	+ 547
純資産比率	12.2%	18.0%	+ 5.8%

## ■ 売上収益

- 前年同期は、コロナ禍による外出自粛等の影響を大きく受け減収となったが、当第1四半期は主に音響機器にて回復。情報機器は前年同期並みであったものの、全体としては+339百万円の増収。

## ■ 営業利益

- 音響機器事業のセグメント利益が増益、情報機器の利益改善に伴い+100百万円の増益。

## ■ 親会社の所有者に帰属する当期利益

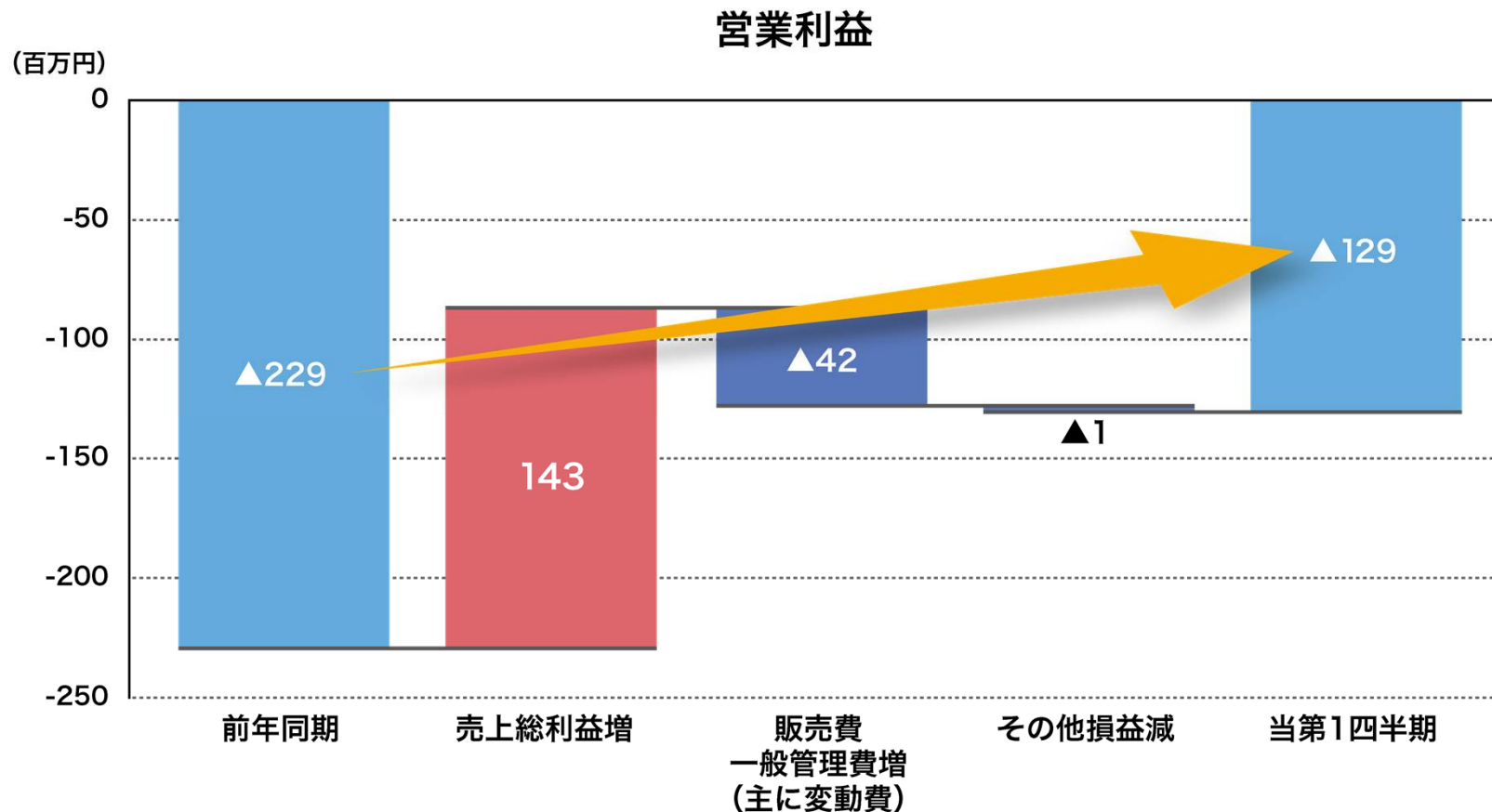
- 主として営業利益の改善により、親会社の所有者に帰属する当期利益は+82百万円の改善。

## ■ 資本合計（純資産）

- 親会社の所有者に帰属する当期利益の増益に伴い、前年同期末に1,126百万円であった資本合計（純資産）は、1,673百万円と+547百万円増加し、純資産比率も18.0%と+5.8%改善。

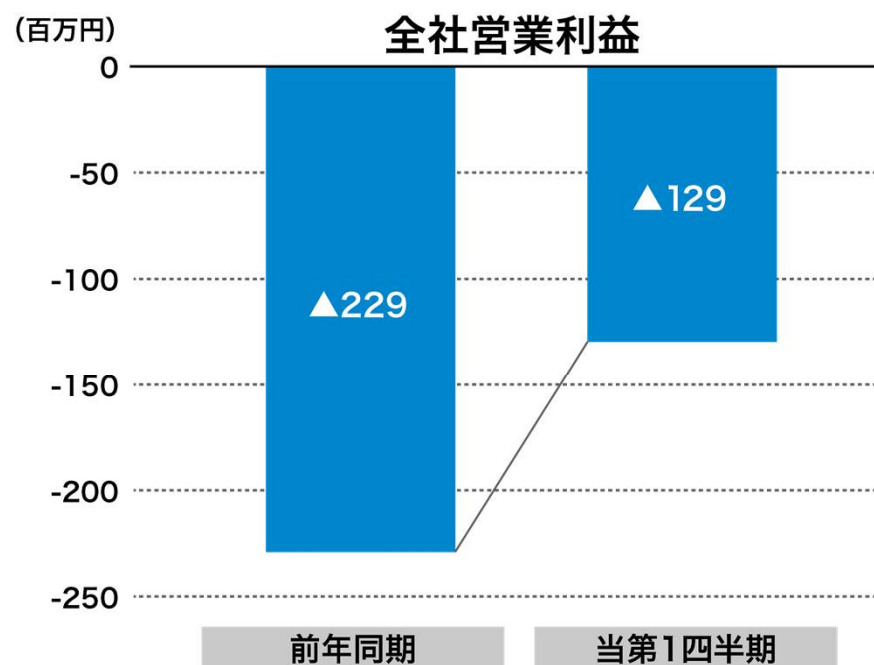
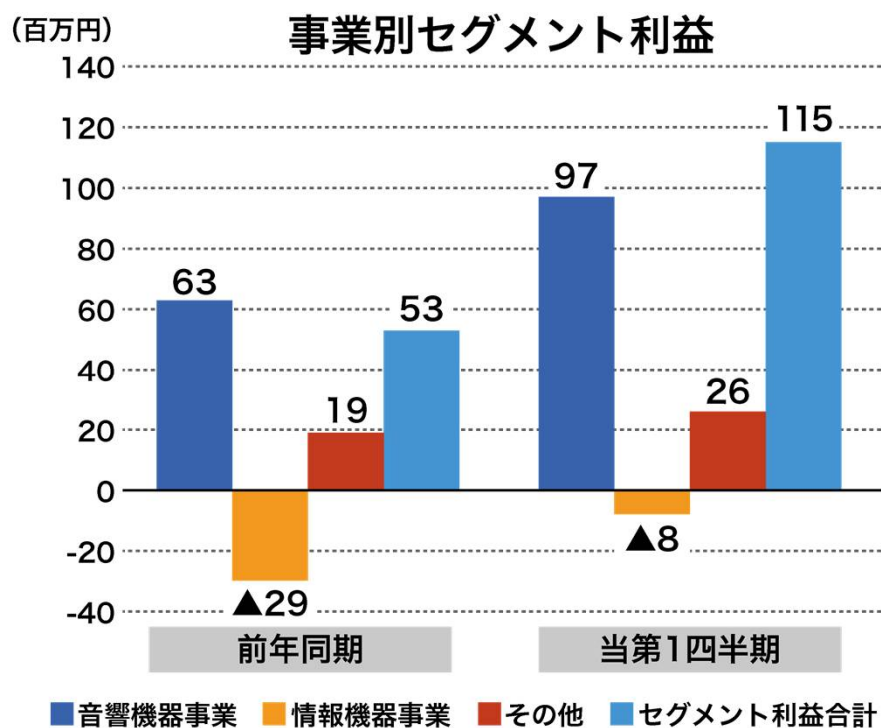
# 営業利益

- 営業利益は、原材料、輸送費の高騰による原価増があったものの、セグメント利益にて音響機器事業全体で増益、情報機器事業も利益率が改善し、全体で+100百万円改善。

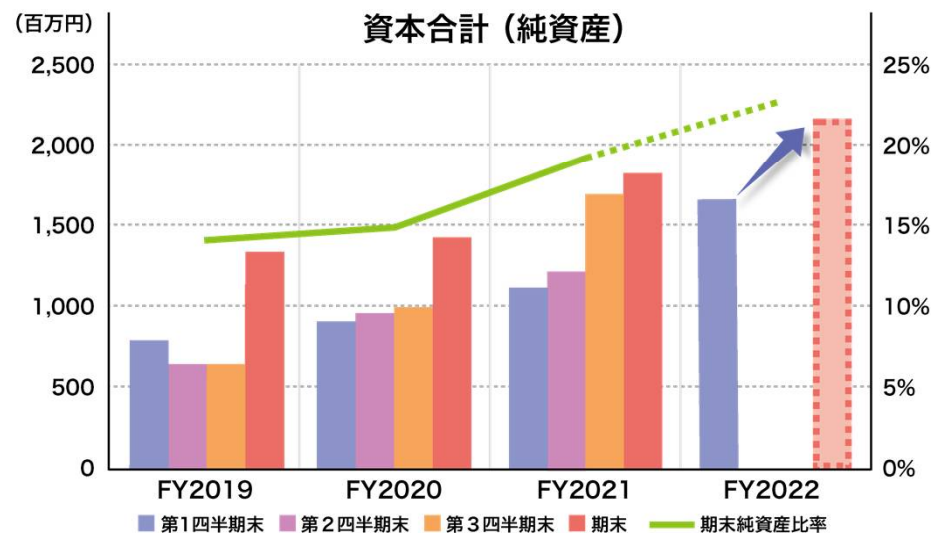
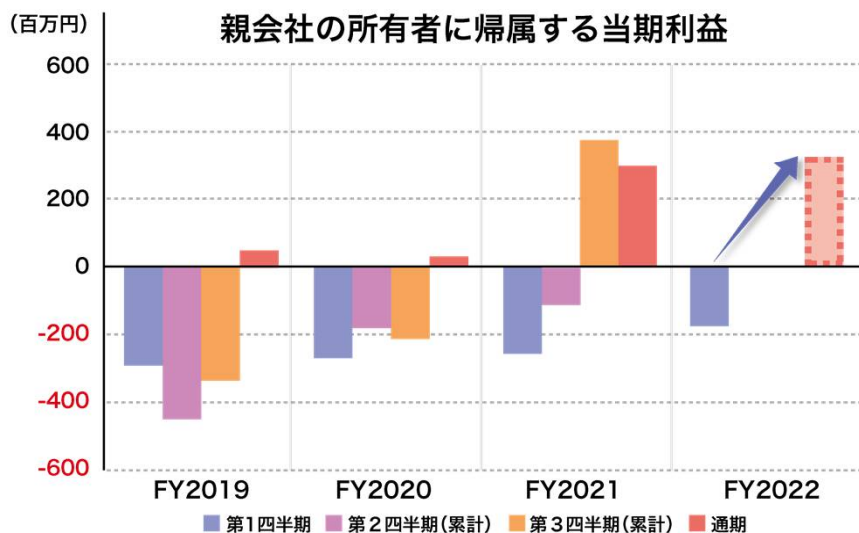
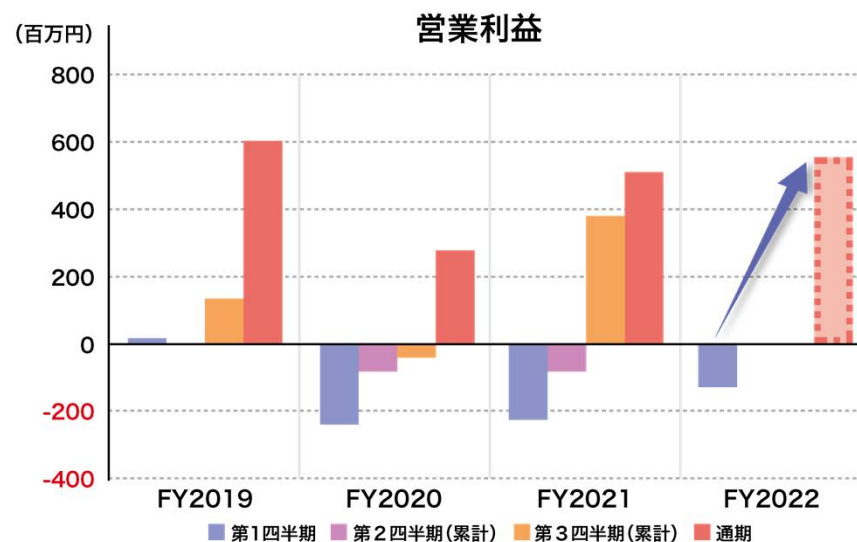
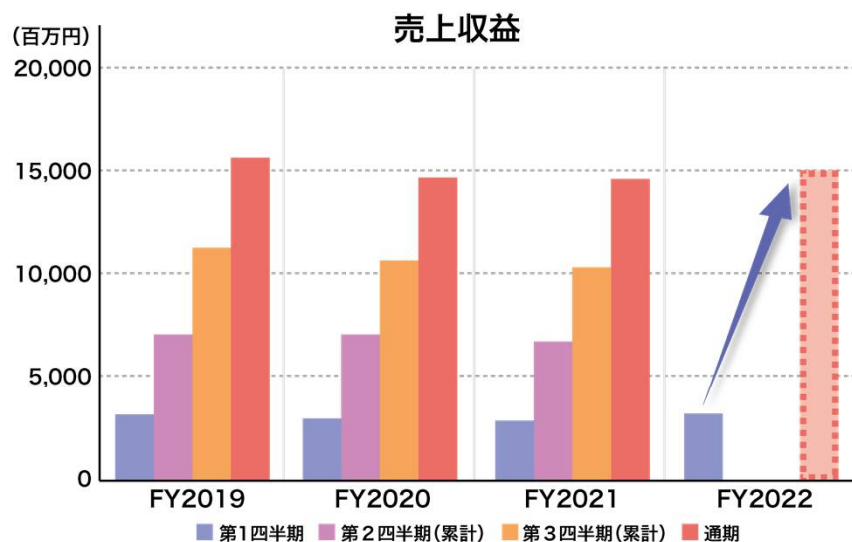


# 事業別セグメント営業利益・全社営業利益

- **音響機器事業**：ハイエンドオーディオ機器、プレミアムオーディオ機器は増収増益、音楽制作・業務用オーディオ機器は増収、利益は前年並みにて全体で増益。
  - **情報機器事業**：売上収益は前年同期並みだが、売上総利益率の改善によりセグメント利益は改善。
  - **全社営業利益**：音響機器、情報機器の利益改善により、前年同期より改善。
- ※ 当期より、高級オーディオ機器、一般オーディオ機器は、それぞれハイエンドオーディオ機器、プレミアムオーディオ機器に呼称変更



# 売上収益、営業利益、親会社の所有者に帰属する当期利益、資本合計推移



# 音響機器事業の取り組み

## ■ 音楽制作・業務用オーディオ機器（TASCAMブランド）

### • BtoB製品

欧米設備市場での持続的成長へ、商品ラインナップに音響機器のみならず映像関連製品を加えることで、システムインテグレータ並びにエンドユーザーにワンストップソリューションを提供できるブランドを目指す。



Model 16 16トラック ライブレコーディングミキサー



Model 12 12トラック ライブレコーディングミキサー



AE-4D 4 AES/EBU入出力Danteコンバーター

- 会議室（企業）
- 文教（視聴覚教室・講堂・体育館）
- アミューズメント施設・劇場
- ホテル・宴会場
- 店舗・商業施設
- 放送局・レコーディングスタジオ



VS-R264 / VS-R265 ビデオストリーミング  
エンコーダー/デコーダー



BD-MP4K 4K対応ブルーレイ/マルチメディアプレイヤー

# 音響機器事業の取り組み

## ■ 音楽制作・業務用オーディオ機器（TASCAMブランド）

### • BtoC製品

創造・制作・配信までのワークフローをカバーする商品ラインナップにより、アマチュアからプロフェッショナルまでユーザーの実現したいことを高品質ながら簡単操作でアシストするブランドを目指す。



DR-40X  
4トラックデジタルオーディオレコーダー/  
USBオーディオインターフェース



TM-250U  
オンライン会議、ライブ配信、  
ゲーム実況に適したUSBマイクロホン



US-1X2HR, US-2X2HR, US-4X4HR  
USB オーディオインターフェース

# 音響機器事業の取り組み

## ■ ハイエンド オーディオ（ESOTERICブランド）、プレミアム オーディオ（TEACブランド） - BtoC

事業規模は追求せず、国内外のオーディオファンをターゲットとした中高級機に特化した製品開発とマーケティング活動を継続することで、ブランド価値の向上と、一層の収益性改善を図る。

### ・ ハイエンド オーディオ

主力であるSACDプレーヤーを軸に、ネットワークプレーヤー、アンプ等の拡充を図り、アジア等の海外市場を拡大。中国・香港市場において、当期にて前年同期比+103%伸長を達成。

ESOTERIC



NEW

Grandioso C1X  
プリアンプ



NEW

N-05XD  
ネットワーク オーディオ プレーヤー

### ・ プレミアム オーディオ

付加価値の高い新製品の開発、独自のアナログ関連製品の充実によりブランド価値の向上と収益改善を目指す。

TEAC



NEW

UD-701  
Referenceシリーズ  
USB DAC/ネットワークプレーヤー



NEW

TN-5BB  
バランス出力搭載  
ベルトドライブターンテーブル



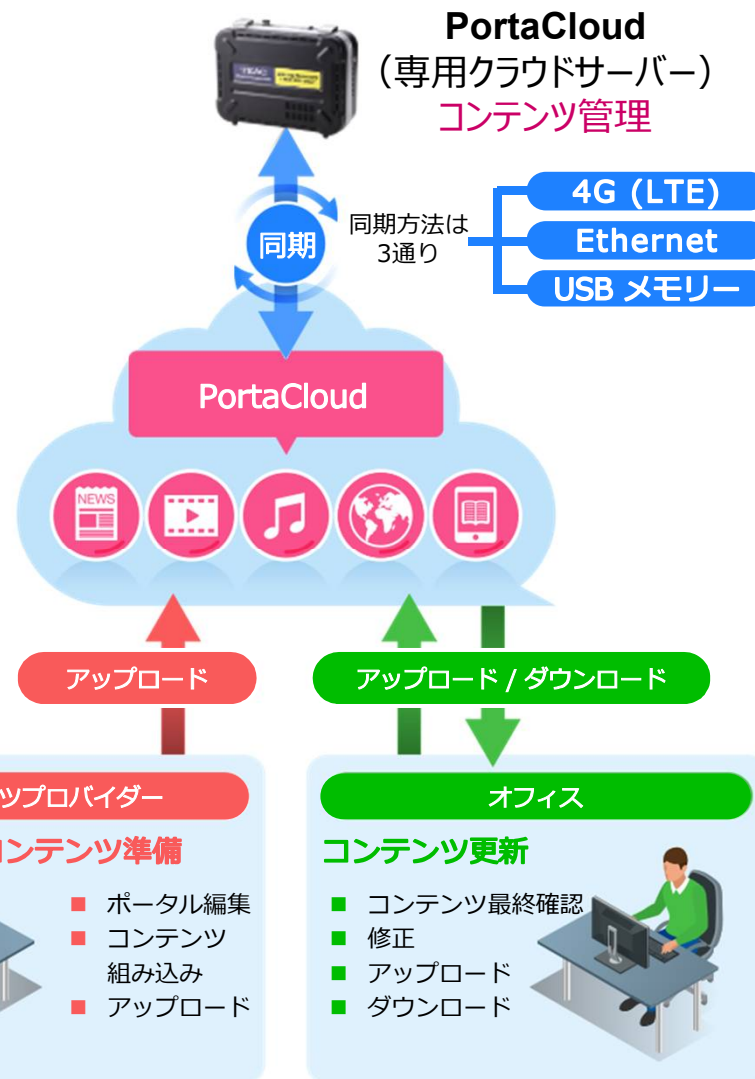
# 情報機器事業の取り組み

## ■ 機内エンターテインメント機器 - BtoB

運用が開始されたポータブルストリーミングサーバーを国内エアラインへ順次導入開始。海外エアラインへは、新型コロナが沈静化次第コンテンツプロバイダーとの戦略的協業のもと展開を進行中。



PS-V50  
ポータブル  
ストリーミングサーバー



# 情報機器事業の取り組み

## ■ 医用画像記録再生機器 - BtoB

新型コロナの影響があるものの、国内においては機器販売に加え、新規開発のウェブアプリを使った手術動画一元管理ソリューションの提案を進める。海外では、販売活動再開となり次第、欧米市場を始め、新興国市場への積極的展開を進める。なお、中国・香港市場における売上収益は、当第1四半期は前年同期並み。



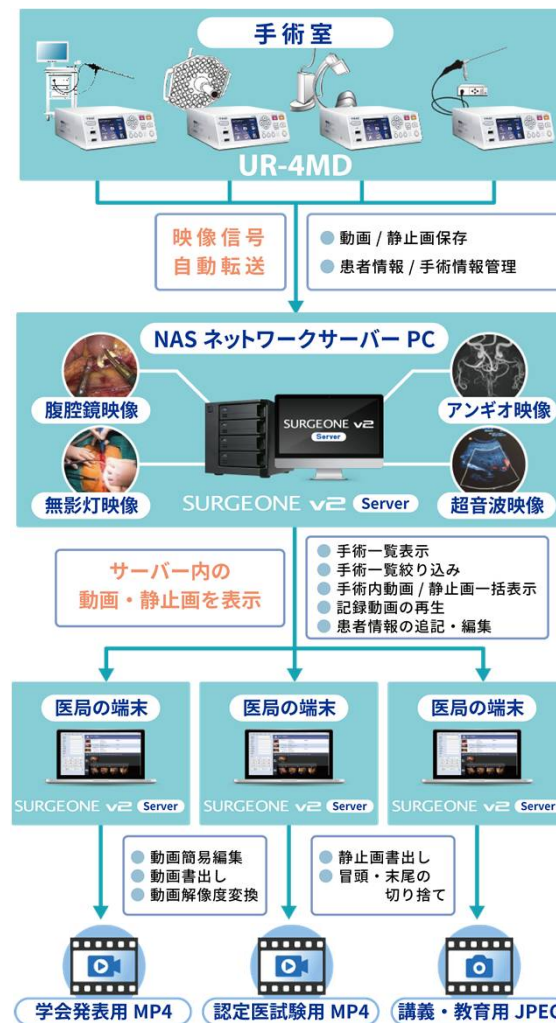
UR-X メディカルビデオレコーダー

MV-1 内視鏡イメージレコーダー



Surge One v2 手術映像記録システム

手術画像と手術・患者情報を一緒に管理



## ■ 計測機器 – BtoB

### • データレコーダー

新たに開発した次世代車載ネットワーク【CAN-FD】に対応したLX-1000用CANモジュールで技術革新が進む自動車業界でLX-1000を拡販。現行品で重工、鉄道、防衛の3分野を、それぞれ開拓。



LX-1000 シリーズ  
インテグレートドログガー



LX-1000用 CANモジュール  
AR-LXCAN1000



WX-7000 シリーズ  
ワイドバンドデータレコーダー

### • センサー関連製品

デジタル指示計のフラッグシップモデルであるTD-9000Tは、FA市場のIoT化に不可欠なフィールドネットワークの世界標準であるEtherNet/IP™モデルを新たにラインアップし、世界市場でのシェア拡大を目指します。



TD-700T  
デジタル指示計



TD-9000T  
カラーグラフィックデジタル指示計



加速度トランスデューサー